

実績報告書

届出者	住所	東京都千代田区内幸町二丁目1番6号 日比谷パークフロント	氏名	ケネディクス商業リート投資法人 執行役員 浅野晃弘
特定事業者の主たる業種		65金融商品取引業, 商品先物取引業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		投資運用業（主に商業施設を保有・運用している）		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間					
2017年	4月	1日	～	2020年	3月31日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(2016)年度	前年度(2018)年度
温室効果ガス総排出量	5,653 t-CO ₂	5,748 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	6,365 t-CO ₂	6,462 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (2019年度)	第1年度 (2017年度)	第2年度 (2018年度)	第3年度 (2019年度)
選択	削減率(排出量ベース)	%	%	%	%
	レ 削減率(原単位ベース)	3.0%	-1.6%	-1.7%	%
削減率(平準化補正ベース)		3.0%	-1.6%	-1.6%	%
吸収量による削減率		%	%	%	%

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(延床面積)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

◎ 事業活動に係る温室効果ガス排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化対策

(1) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理由)

<p>第1年度は基準年度比で-1.6%の削減率となり、第2年度は基準年度比で-1.7%の削減率となりました。 なお、主な事業所に該当するCOMBOX光明池は一棟貸しをしており、2016年3月31日付でエネルギー管理義務に関する覚書をテナントと締結しています。従いまして省エネ法と同様にCOMBOX光明池をオーナーの管理対象外とするとエネルギー総使用量は1,500 [kL]を下回りますが、引き続き計画期間中の温室効果ガス削減に努めていきます。</p>
--

(2) 推進体制

<p>省エネルギーの目標と実績の対比、問題点とその対策方法の確認およびその他省エネ推進に関する事項を議題とした省エネ対策検討委員会を定期的に開催することを検討している。</p>
--